

平成30年度第2回
北海道スポーツ推進審議会

会 議 録

日 時：平成30年11月1日（木）10時30分開会
場 所：かでの2・7 9階 920会議室

1. 開 会

○事務局（石丸スポーツ局スポーツ振興課長）

定刻となりましたので、ただいまから、平成30年度第2回北海道スポーツ推進審議会を開催します。

本日の進行を務めさせていただきます北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課の石丸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 挨拶

○事務局（石丸課長）

開会に当たりまして、北海道環境生活部 若原スポーツ局長よりご挨拶申し上げます。

○若原スポーツ局長

おはようございます。私は今ご紹介にあずかりました北海道環境生活部スポーツ局長をしております若原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げさせていただきます。

委員の皆様方におかれましては、御多忙のところ御出席いただきまして、また、日ごろから、本道のスポーツ振興・発展に御尽力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本道におきましては、9月6日に発生いたしました胆振東部地震の影響で、多くの尊い命が失われ、また、多数の方々が不自由な生活を送る事を余儀なくされました。

スポーツの分野におきましても、この地震によりまして、道内で開催が予定されておりました日本スポーツマスターズ札幌大会などのスポーツイベントがその直後、全て中止となるなどの大きな影響もございましたが、現在は被災地以外の大部分の地域では、生活インフラなども順調に回復してきておりまして、スポーツ大会もそれ以後は予定どおり実施されてきているところでございます。

一方、道内のスポーツ、現在の状況に目を向けますと、本年8月にジャカルタで開催された第18回アジア競技大会では、陸上競技の右代啓祐選手をはじめ、5名のどさんこ選手の方々が金メダルを獲得したほか、団体競技におきましても女子ソフトボール、女子サッカー、女子7人制ラグビーでもチームの一員として参加いたしまして、4名の方々が金メダル獲得に貢献したところでございます。

なお、アジアパラ競技大会では、金メダルを獲得した方がいらっしゃるという状況でございました。

また、来年の1月下旬から2月にかけて、釧路市ではスケートとアイスホッケー、札幌市ではスキーの第74回国民体育大会冬季大会が開催される予定となっております、こちらでも、どさんこ選手の活躍を大いに期待しているところでございます。

私どもといたしましては、この国体を皮切りといたしまして、来年9月予定のラグビーワールドカップ、来年札幌で実際に2試合開催される予定でございますし、さらに翌

年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、こちらも札幌でサッカーの試合が予定がされております。これらのビッグイベントを契機といたしまして、スポーツに対する道民の気運をさらに盛り上げていきたいと考えております。

本日は、前回の審議会開催以後に予算措置された、第2期北海道スポーツ推進計画の関連施策を報告させていただくとともに、平成30年度北海道スポーツ賞の候補者選考などにつきまして、ご審議いただく予定でございますので、皆様方の専門的なお立場から貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますけれども、委員の皆様には、今後とも一層の御協力と格別なるご指導・ご助言をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会の御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（石丸課長）

それでは、今回、初めて本審議会に出席いただきます委員がお二人おりますので、ご紹介いたします。

まず、北海道中学校体育連盟会長、札幌市立月寒中学校長の藤井勲一委員です。

○藤井委員

おはようございます。北海道中学校体育連盟会長の藤井と申します。不慣れな中ではございますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（石丸課長）

続きまして、北海道婦人スポーツ連盟会長の山崎文子委員です。

○山崎文子委員

おはようございます。私は北海道婦人スポーツ連盟の会長をしております。団体名のとおり女子のスポーツの振興に務めております。私自身は、硬式テニスをして、今人口の増えているベテランテニス大会の全日本にエントリーして頑張っております。この会で婦人の、そしてベテランの方達のスポーツ振興の勉強になればと思ひまして参加しておりますので、皆さん、よろしく願いします。

○事務局（石丸課長）

ありがとうございました。

それでは、会議の位置付け等について説明させていただきます。

北海道スポーツ推進審議会につきましては、スポーツ基本法第31条及び北海道スポーツ推進審議会条例により、知事の諮問に応じ、スポーツの推進に関する重要事項を調査審議することを目的として設置されております。

北海道情報公開条例第26条により、会議は「公開」となっておりますが、会議を公

開することが適当でない場合は、同条の但し書きにより、会長が会議に諮って非公開とすることができます。会議録は、「附属機関等の設置及び運営に関する基準」に基づき、非公開部分を除き、行政情報センターで閲覧に供するほか、北海道のホームページで公表することになっております。

本日は、全ての委員15名に出席いただいております。全委員の2分の1以上の出席がございまして、北海道スポーツ推進審議会条例第6条第2項により会議が成立していることをご報告いたします。また、本日の審議会でございますが、終了予定時刻は概ね11時30分を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

[会議資料を確認]

○事務局（石丸課長）

それでは、ここからの議事につきましては、宇佐美会長にお願いしたいと思います。それでは宇佐美会長、議事の進行をお願いします。

3. 議 事

○宇佐美会長

はい、皆様おはようございます。新たにいらした方もいらっしゃるの、会長の宇佐美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは議事に入ります。議事の進め方ですが、お手元の次第に沿いまして報告事項から審議事項までを順番にお諮りいたします。それぞれの議題について事務局から説明を受けた後に、委員各位からの質問をお受けいたします。質問終了後、審議事項については採決を行います。

事務局からの説明にもありましたが、北海道情報公開条例第26条により、会議は「公開」となりますが、審議事項については候補者の個人情報を含んでおり、会議を公開することは適当でないことから26条のただし書きにより「非公開」としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

[異議なし]

○宇佐美会長

それでは、審議事項については非公開といたします。傍聴者及び報道関係者におかれましては、報告事項の終了後にご退室いただきますよう、あらかじめお願い申し上げます。それでは、報告事項について、事務局から説明をしてください。

○事務局

本日はよろしくお願いいたします。私の方から平成30年度のスポーツ関連施策について、ご説明させていただきます。6月に開催させていただきました第1回審議会、「平成30年度のスポーツ関連施策」についてご説明させていただきましたが、先程、局長

からの挨拶でもございましたけれども、その後、補正予算で追加となりました施策がありますことから、今回新たに資料を整理したものとなります。

報告の中身としましては、今回、新たに追加された施策についてご説明させていただきます。

それではまず、資料1-1をご覧ください。

こちらにつきましては、第2期北海道スポーツ推進計画の柱ごとに施策を並べたものになっております。今回追加いたしました施策につきましては、事業名を太字といたしまして、アンダーラインを引いて明示しているところでございます。

1ページ目の柱1-2「幼少期からのスポーツ機会の充実と子どもの体力向上」の一番下の施策をご覧ください。「**オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業**」が追加となっております。事業の概要につきましては、後程、資料1-2で説明させていただきます。

次に、2ページ目では、柱2-3の上から3番目の事業の「**障がい者スポーツ推進事業費**」、こちらが追加の事業となっております。

次に、3ページ目の柱3-2「世界に羽ばたく次世代アスリートの発掘・育成」の下から2番目の事業である「**地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業費**」、また、同じく3ページ目の柱3-4「**ウインタースポーツの競技力向上**」のところで「**ワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会開催費補助金**」、こちらが追加となっております。

最後に、4ページ目の柱5-1の上から3番目の事業になりますけれども、こちら先程1ページ目でもご説明いたしましたが、「**オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業**」、こちらを再掲として事業計上しているものでございます。

続きまして、資料1-2を御覧ください。こちらの資料につきましては、各部局毎に施策を並べたものとなっております。

まず7ページをご覧ください。左上に31番と記載した事業・施策となりますが「**障がい者スポーツ推進事業**」、こちらは前年度からの継続事業であり、国の補助事業を受託し、障がい者の方がスポーツや芸術に触れる機会を作ることや、身近な場所でスポーツを実施できる環境整備を図る事業となっております。

次に、一つ下の施策になりますが、32番の「**地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業**」、こちらも前年度からの継続事業で、日本スポーツ振興センターが実施する事業を受託し、関係団体間の連携によりアスリートの発掘・育成プログラムなどを通じ、本道の競技力向上を図るものとなっております。

次に、一番下の33番、「**2018/19ISUワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会開催費補助金**」になりますが、こちらは新規の事業で、11月に帯広市で開催される、ワールドカップスピードスケートの開催に係る補助金となっております。

続きまして、14ページを御覧ください。一番下の34番の施策になりますが、「**オ**

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」、こちらも新規の事業となっております。国の委託事業で、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国際的な視野や共生の視点をもって社会に貢献できる人材を育成するため、オリンピック・パラリンピック教育を推進するものという事業となっております。

以上、当初予算以降、2定補正予算、3定補正予算により追加となったスポーツ関連施策について説明させていただきました。私からの説明は以上でございます。

○宇佐美会長

ありがとうございました。ただいま資料1-1、1-2に基づきましてご説明をいただきました。新たに予算付けがされたものを中心にご説明いただきましたが、今の説明について、なにかご質問・ご意見ございますか。

[特になし]

○宇佐美会長

では、報告事項は終了といたします。

○宇佐美会長

次に審議事項に入りますが、冒頭で申し上げましたとおり、審議事項は個人情報を含んでおりますので、北海道情報公開条例第26条により非公開とさせていただきます。

[報道関係者、傍聴者は退席]

[平成30年度北海道スポーツ賞候補者の選考：非公開]

○宇佐美会長

では、予定していた議事は以上ですが、その他ということで何かございますか。

○黒田委員

今年度のスポーツ賞の成績優秀者の数は過去の受賞人数を見ても、過去最高の人数だと思うんですね。ここら辺を広報の時にきちんと書いておかないと、報道の方々がそれを見ないから、それをやってください。

もう一つ、今日の日向委員のご指摘って、凄い重いと思うのですよ。この平場で話すような問題では無いと思う。障害者スポーツの方向に関わる問題だから。そもそもこの北海道スポーツ賞ということ自体も、僕は抜本的に見ないといけないなと思いました。僕は3期目の公募委員なんですけど、正直言って全部読んでなかったのだけれど、今回読んでみたら、結構おかしなところが一杯あります。例えばですね、表彰の副賞の問題。北海道スポーツ賞で8千円しかない。これ貰った方どう思います。たった8千円しか貰えないのになんで全道各地から出てくるんですかというのは思いました。そこら辺

の根本的なところからもう一回考え直さなければいけないのではないかと。そのためにはどうしたら良いかと。プロジェクトチームを作るのか。議会の中で議論して貰うのか。そこら辺の仕組みというのはどうなっているのでしょうか。

○若原局長

今の金額の件は、北海道庁トータルの表彰の事務取扱要領でして、スポーツ賞だけではなく文化ですとか、その他トータルで。縦割りの言い方になりますが総務部の人事課というところで所管しております、そこで全庁的なことを見ながらこの額ですとか表彰ですとかを決めていると思いますが、本日、先生からいただきましたご意見は、人事課にも、外部の先生からこのような意見があったということを伝えていきたいと思っております。その結果等々について、先生に連絡したいと考えておりますので、よろしく願います。

○宇佐美会長

この選考基準等々につきましては、これまでもご意見があれば、先程の女性枠もそうですけれども改正される場合があります。そういったこともありますので、黒田委員におかれましてはもう一度基準を読んでいただいて、次回にでもまた提起をしていただけたらと思います。あとはよろしいですか。

○遠藤委員

後一点よろしいですか。

○宇佐美会長

遠藤委員、どうぞ。

○遠藤委員

今日の報道で北海道ボールパーク構想の建設地について、いよいよ北広島でという方向性が出たように書かれてあります。急ぐ話ではないのですが、札幌ドームに対しては、現在北海道では道民の健康増進に資するとのことで財政的な支援を行っております。今後、北広島の施設ができ、北広島の施設も道民の健康増進に資するとしたならば、どのように両者のバランスを取り支援していくか。何か、既にお考えをお持ちでしたら、教えてください。これまで札幌ドームに対し、道民の健康増進に資することだから応援していたという解釈をすると、たぶん北広島も同じような解釈はできるのではと思ふ素朴な疑問が生じました。

○若原局長

札幌ドームにつきましては、札幌市が建てた公共の施設でして、昨日発表のあった北海道ボールパークは、日本ハム、民間企業が建てられるということで、その建設費に関しましては、まだ何も議論しておりませんし、特段支援をして欲しいとの話も伺って

おりません。昨日は、600億円という額が出ておりましたので、私どもといたしましてはそちらは日本ハムが建てられるのだろうとと思っているところです。その他、知事も応援しますというコメントを出させていただいたんですけれども、3月の段階で日本ハムや北広島市から道路の関係を支援してくださいというお話もありましたので、今も協議をしているところですが、実際に道として予算を付けるということになりましたら、本日、冒頭で説明させていただきました施策の中の予算について、こちらの審議会で報告させていただきます。

○宇佐美会長

ありがとうございます。他にございませんか。特になければ、これで終了いたします。皆様、ありがとうございます。事務局にお返しいたします。

○事務局（石丸課長）

宇佐美会長ありがとうございます。

本日、ご審議いただいた議題のうち、「北海道スポーツ賞候補者」の選考につきましては、本日の審議を踏まえながら、事務手続きの上、後日決定したいと思います。なお、決定まで候補者氏名等の取扱については、留意いただきたいと思います。

また、今回の選考経過については部外秘となっておりますことから、資料2につきましては、お帰りの際にはそのまま机の上に置いていただきたいと思います。

今回、「北海道スポーツ賞実施要綱の改正(案)」ということで提案しておりましたが、本日、色々なご意見を頂いておりますので、このご意見を踏まえながら、改正手続きを進めたいと思います。

4. 閉 会

○事務局（石丸課長）

それでは、以上をもちまして、平成30年度第2回北海道スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございます。